

花園中学校では4月の職員会議において「花園中教育公約」を決定し、それを生徒及び保護者の皆様にお伝えしています。その内容は、本校の学校教育目標である「・心を磨く生徒・真摯に学ぶ生徒・体を鍛える生徒」を達成するための具体的な行動指針が示されているものです。今年度も前期に続き後期教育課程終了間近にそれぞれの項目について、4（達成している）3（ほぼ達成している）2（あまり達成していない）1（達成していない）の4段階で、全職員による評価を行いました。その結果は別表をご覧ください。

花園中学校では、教育公約の達成目標を評価4+3の割合が80%以上と設定しています。今回の評価も前期に続き、全ての項目で目標を達成しました。このことは、保護者をはじめ地域の方々の御支援・御協力の賜と改めて感謝申し上げます。昨年度、目標値に達しなかった清掃で「心を磨く生徒」に関しては91.3%に達しました。本校の生徒は落ち着いており、多くの生徒が清掃にもまじめに取り組んでいます。しかし、指示された仕事はできるが、自ら考え主体的に取り組むことができない生徒が見られます。無言清掃の場合は、自ら見て、考えて清掃に取り組む姿勢が必要となってきます。依然として気にかかるのは椅子に座るときの姿勢です。長期的な展望に立ったとき、正しい姿勢を保つことは、健康保持や気力の充実にとって重要であることは言うまでもありません。このことを、学級指導や保健委員会の活動を通して実効性のある実践活動が展開できるよう指導を継続していきます。中学生の生活習慣は躰けられて身につく段階から、自ら考え判断し実践を通して定着させるレベルへの変換期にあります。勉強にしろ運動にしろ、さらなる向上を目指すためには克服しなければならない課題です。そこで、清掃委員会や保健委員会を中心に課題を提示し、実践の場を設定して、具体的な活動を通して心を磨くことができる生徒を育ててまいります。